

第 134 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 28 年 7 月 27 日（水） 13：30～14：50

場 所：浜田公民館第 1 研修室

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員（欠席）

事務局 山本部長 佐々木課長 森脇課長 岡田室長

山根課長 島田館長 長見所長 渡邊課長 村瀧室長

大崎分室長 栗栖分室長 森下分室長 吉野分室長

書記：小林係長 皆田主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

(1) 浜田市 PTA 連合会と教育委員との意見交換会について（資料 1）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

(1) その他

1 教育長報告

石本教育長

個人的なことだが私は高校野球が大好きなので、甲子園の県予選が終わり、地元の高校が出ない時は夏が終わったなという気持ちになるが、今年はお雲高校が初めて甲子園に出場するという事で、ネット等に色々と記事が出ており、それを読んでいたら少しこれが勝つ秘訣なのか、ということが書かれていた。今までお雲高校は1月の、その年の1番最初の練習の日に、学校からお雲大社まで10kmちょっとあるらしいが走って行って、今年も1年間よろしくお祈り、お願いをしてきたということだが、監督が代わられて、お願いばかりではだめだろうと、1年間が終わった時に、1年間無事に練習をさせてもらいました、とお礼をしなければいけないだろうということを監督が言われた様で、12月31日の練習の最後の日もお雲大社に行き、1年間のお礼を昨年されたそうである。それをしたので選抜には21世紀枠で出られるだろうと思っていたが、それはだめだった。しかし夏の大会で勝ち上がることができて、やはりお礼はきちっとしておかなければいけない、といったことが書いてあった。感謝の気持ちを忘れないことも大事なことなのだろうなと思った。

① 7月2日(土) 第1回和紙サミット(県立大学コンベンションホール)

第1回和紙サミットを大学のコンベンションホールで開催した。具体的にはユネスコの無形文化遺産登録、これが石州半紙と、それから埼玉県細川紙、岐阜県の本美濃紙。この3つの和紙で日本の手漉き和紙技術ということでユネスコに登録されているが、その3紙が集まってこれから和紙についてのシンポジウムを輪番制で開催していこうということを決めて、第1回目が浜田で行われた。浜田でどういった話をするかといった話の中で、市長が和紙の技術を継承する、それから後継者を育成する、そういったことだけではなくて、やはり産業として成り立たないとなかなか後世に引き継いでいくことは難しいということで和紙の産業化、そういったものをどうするかということテーマにして話をしようという会で3時間くらいのシンポジウムが開催された。ご存知のように石州半紙は神楽面や蛇胴、そういったものにも使われており、インテリアにも一部使われている。服にも色々と使われたりしている。和紙問屋の方がパネラーで出ておられたが、その方が東京のデパートでは夏用のブレザーを和紙で作っていると、そういった話をされていた。和紙はこれから色々な産業、色々な分野に出ていける可能性のある産業の1つであるといった話をされた。こういった和紙の今後の活用について、今回は浜田だったが、来年は埼玉県の細川紙がある小川町というところで行われることが決まっている。

② 7月5日(火) 市PTA連合会役員との意見交換会(浜田公民館)

毎年、年に2回くらい開催され、以前は教育委員方とPTA連合会役員との意見交換会といったことも何年か前に開催した記憶があるが、今回またそういった話があり、今日の議題のところで挙げているが、委員方と連合会役員との意見交換会を少し検討させていただければと思っている。後ほど色々ご意見をお聞かせいただけたらと思う。

③ 7月5日(火) 教育委員会学校訪問・2日目

教育委員会の学校訪問を7日間かけてしている。これについてもその他のところで委員方からご意見等を伺えればと思っている。

④ 7月11日(月)、13日(水) 三隅・浜田ことばを育てる親の会

要望（教育委員室）

7月11日に三隅ことばを育てる親の会からの要望、合わせて7月13日に浜田ことばを育てる親の会からの要望があった。要望内容は毎年ほとんど同じ様な内容だが、どちらの会からも要望があるのが、先生方の配置について、現在通級担当の先生が三隅小学校は2人、松原小学校は3人、第一中学校が2人、三隅中学校は1人ということになっている。三隅中学校の1人、これを何とか複数配置にできないだろうかといった要望が毎年あり、今年も要望があった。三隅中学校の中だけの通級ではなく、他の学校へ出向いて行かれて色々な指導をされる。そういったことで学校を空けられることが多いので、その学校に付いている先生がおられなくなるという状況はいかななものかということで、1人は必ず学校に残っている状態の複数体制にしてくださいといった様な要望である。概ね生徒が10人いれば、先生を1人配置するということが文科省の基準になっている。今三隅中学校は10人を切るくらいの生徒の対応をしているので、数としては1人が適当であるが、親の要望としては2名の配置を、ということである。

それから幼児、幼稚園の子どもや保育園の子ども、そういった子どもも通級の先生方の指導を受けられる様な体制を整備してほしいという要望が毎年ある。浜田では相談支援チームというものがあり、この支援チームの中には小中学校の通級の担当の先生も入っており、それから三隅のリハカレの先生で、言語聴覚士の資格を持っている先生もこの支援チームに入っている。そういった先生方が幼稚園や保育園へ出向いて行って、色々な相談を受けるといった回数を増やすことでその辺の対応をしているところである。

合わせて、通級のクラス担任が2年くらいで代わられるケースがあるということで、ぜひ通級のベテランの先生を通級に配置できる様な体制を整えてほしいといった様な要望があった。

毎年そういった要望があり、県の方にはそういった旨をお伝えしますということで回答しているが、なかなか人事異動の関係は難しい面があり思うようにならない現状がある。そういった三隅と浜田のことばを育てる親の会からの要望があるというところである。

⑤ 7月18日（祝・月）海と日本プロジェクト・Hamada マリン郷

育体験（大浦の浜）

海と日本プロジェクト・Hamada マリン郷育体験を大浦の浜、マリン大橋を渡って瀬戸ヶ島に渡ったすぐ下にある小さい海岸だが、結構穴場でたくさんの方が海水浴等楽しみに来られる場所で、そこでそういった事業を行っている。市内の小学生4、5、6年生を対象に募集をかけ、31人の子どもが当日参加をしてくれたが、海辺の安全教室やカヌー、それから SUP、ボードの上に立って手で漕ぐといった様な体験をした。これはちょうど報告事項の中に資料が付いているのでまた生涯学習課長から詳しく報告があると思う。せつかく豊かなきれいな自然が浜田にはあるが、なかなかそういったものを子どもたちが生かしてきていないというか活用していない、もったいないという気がしていたが、そういったことを少しでも改善するというか体験してもらおうということで自然体験推進事業という学校教育である教育プログラムを今年から新たに作っているが、学校だけではなく社会教育の中でこういった取組を進めていくということである。

6月の議会で予算は補正で出ささせていただいたが、日本財団というところが8割を補助してくれるという様な事業である。約1,000万円の事業で800万円近くを日本財団が補助で出してくれるということで、事業がスタートしている。この日のイベントだけではなくて、年間通じて各学校が利用する、それから公民館がそういった海の体験をする。社会教育の中でも体験する、そういったイベントが1年中通じて行われるといった様な事業である。

⑥ 7月21日（木）スーパーティーチャー示範授業《国語》（国府小）

スーパーティーチャー示範授業が国府小学校で行われた。ここ何年間か浜田で国語の指導をいただいている筑波大学附属小学校教諭の二瓶弘行先生が来られて、今年も授業をしていただいた。130人くらいの先生方が授業をご覧になって勉強をされた。

⑦ 7月21日（木）県教育委員会連合会理事会・総会・研修会（ホテル宍道湖）

県教育委員会連合会理事会・総会・研修会があり、委員方には松江へお出かけいただいた。ありがとうございました。

⑧ 7月22日(金) スーパーティーチャー示範授業《算数》(長浜小)

スーパーティーチャー示範授業の算数を長浜小学校で開催された。環太平洋大学の次世代教育学部の准教授前田先生が来られて授業をされた。これは90人くらいの先生方がお集まりになって勉強されたと聞いている。

⑨ 7月22日(金) 平成28年度奎星会夏期書道研究大会・開会式(国府小学校体育館・国民宿舎千畳苑)

平成28年度奎星会夏期書道研究大会が22日から24日まで国府小学校体育館・国民宿舎千畳苑で開催された。奎星会は日本で1,000人くらいの方が加入している書道団体である。毎日書道展という日本では一番大きな書道展があるが、その中核を成す組織が奎星会という会である。浜田の五風会の先生方もこの奎星会という組織の中に入っておられて活動している。浜田の五風の先生方、私たちから見れば皆大先生だが、その先生方が先生と仰ぐような先生方が全国から来られて書道の研究会を開かれた。来年もう1年浜田でやるということで、国府小学校辺りのロケーションがすごくいい所だということで都会から来た先生方も感動しておられた。夜には子ども神楽、石見神楽もご覧になって、浜田を楽しみながら書道の研鑽を積まれて帰られた。神楽を見られるときに、1人暑さのために倒れた先生がおられて大変だったという話を聞いたが、たまたま習字をされる先生の中に元保健所の所長がおられてすぐに処置できたという話も後から聞いたところである。

⑩ 7月22日(金)、23日(土)、24日(日) 中学校県総体

今年の県総体は7月の10日から27日今日まで島根県の各市町村の会場で行われている。今年は4,700名くらいの生徒が参加をしているといった話があった。競技は野球を除いて14競技だそうである。野球は山陰中央新報社との共催ということで外れているが、それも入れたら15の競技が県内で行われているということである。それぞれの競技で浜田の中学生が大変頑張っている。第一中学校の女子がソフトテニスの団体に準優勝した。それから男子のバスケットボールも第一中学校の男子が準優勝、それから第三中学校の男子が3位といった様な記録もあった。陸上では浜田東中学校の三浦龍司君、3年生だが3,000mで県で断トツの1番になっており、山陰記録も作った。彼が全国

標準記録を突破して全国大会に浜田からは1人という様な記録を出している。1,500mでは全国標準記録にあと1秒足りずに優勝はしたが全国大会には行けないということで、3,000mだけ全国へ行くことになる。

⑪ 7月27日(水) 竹本正男氏遺品贈呈式(市長応接室)

竹本正男先生が着ておられた競技場で着る体操ウェア、それを国府小学校に今回寄付をされた。竹本先生のそういった品を管理されている樋野先生という方が松江におられるが、樋野先生が浜田市の方へ寄付をされて、浜田市の方から国府小学校へ送ってくださいということで、今日その贈呈式があった。国府小学校は新しい校舎ができて、竹本先生は国府小学校の前身の国分村尋常高等小学校のご出身で、母校だということで国府小学校へ送ろうということになったが、その仲介を取っておられた樋野先生が昨年体調を崩された関係で昨年渡すところが今年になった。今日伝達式を行ったので、今日か近日中の夕方にテレビ放映されるようだ。新聞は明日だいたい出るそうである。

1か月間の様子をお話しさせていただいたが、ここまでで質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員

7月18日に海と日本プロジェクト・Hamada マリン郷育体験があって、31人応募があったということだが、31人というのは多いのか、ちょうどいいのか、少なかったのか。

石本教育長

海の事業なので、安全を確保するためには何百人も来ても安全確保できないので、一応募集は50人かけたが、子どもも色々忙しいので、結果的には32人応募があり、1人当日体調不良で休まれたので、結果的に31人となった。本当は50人揃ってほしかったが。

議会でも1,000万円かけてやるのだから50人では少ないのではないかと話があったが、これがメインのイベントでそれ以外にもたくさん小さいイベントがあるので、また後から山根課長が説明する。

藤本委員

すごい補助があると聞いていたので。持ち出しがあまりないなと思っていた。

石本教育長

200万円ほど持ち出しである。

藤本委員

7月24日の佐々田懋顕彰会・服部之聡顕彰会総会・講演会に参

加してきた。島根県立大学の大学院の学生が話をされたが、その学生の師匠という方がおられて、その方も一緒に来ておられた。その方の指導を色々と受けて、佐々田懋さん、服部之聡さんのことについて調査をされた結果を広く皆さんにお伝えするという様な内容のものであった。前市長の宇津さんがこの顕彰会の会長である。総会をして、引き続き講演会をされて、むしろ木田地区の地元の方よりは他所からお出でいただいた方の方が多かった様に思う。やはり皆さん色々な思いをお持ちなのだなと感じたので報告しておく。

石本教育長 たぶん講演された県大の大学院生、河野さんの先生は元副学長の飯田先生だと思う。

藤本委員 そうである。以前そのような話をこちらの公民館で聞いたことがある。

石本教育長 専門的な話だった。飯田先生から聞いたことがあるが、河野さんという方が大学院に入られて服部之聡の勉強をしたいと言われたが、県大に服部之聡のことが分かる方が誰もおられなくて、飯田先生が本気で勉強をして、自分が勉強をして学生に教えたと話されていた。服部之聡さんは木田地区の出身であるか。

藤本委員 佐々田懋さんも服部之聡さんも木田地区出身である。佐々田懋さんというのは、今でも屋敷がある。昔は庄屋だったということで、今地元の自治会がかなり保存されており、保存といっても限りがあるので、お盆の1週間前後くらいは夜間スポットライトを当てている。お盆の前後は夜来られたら結構、竹田城ではないがスポットライトで浮かび上がる様な演出をされている。

服部之聡さんというのは、正蓮寺というお寺があるが、あそこの方である。

石本教育長 木田の暮らしの学校では今後月に2回ほど喫茶店というかカフェを開くという様な話があるが。

藤本委員 コーヒーが非常に高いのでなかなか召し上がりにくいですが、だいたい800円くらい。でも味わいは違う。

石本教育長 その他よろしいか。

委員方 その他質問事項等なし

石本教育長 私からの報告は以上である。

2 議題

(1) 浜田市 PTA 連合会と教育委員との意見交換会について (資料 1)

小林係長

市P連・教育委員意見交換会開催計画書ということで資料を配っている。先ほど教育長がおっしゃった様に、数年ぶりの開催となる。冒頭の報告でもあった様に7月5日に市長表敬、その後の教育委員会事務局との意見交換の中で委員方との意見交換の話も出て、市P連の役員方もそれについて話をする中でぜひ委員方と意見交換をしたいということがあったので、今回は計画書ということで挙がっているが、意見交換会を行うかどうかを含めて話をしていただけたらと思っているのでよろしくお願いしたい。

日程は今のところ平成28年9月以降、2時間程度としているが、実際には9月は学校、それに付随した保護者がPTAの行事等があったりして実際には10月以降になるのではないかと考えているが、秋口に開催を考えている。

出席者については委員方4名と教育長、市P連の役員ということで、役員全体でいうと10数名に上ったと思う。そうなると意見交換といってもなかなか人数が多いと話もまとまりきらないかなと思うところもあるので、正副会長でだいたいその中で出席いただける5名程度でいかがかと投げかけてみたいと思っている。

事務局としては教育委員会事務局から出席はあるが、次にお話しするテーマの内容によっては担当課長も出席をするかどうかというところで増減が出てくると思う。内容については2時間程度の意見交換となる。これが2点目の決めていただきたい事項になるが、テーマをどういった形にするかというところである。だいたい3区分あり、テーマを設けずに色々な教育行政全般について思いを出し合うというか、ざっくばらんに話し合いをするというやり方と、2つ目の方法としては市P連の要望事項等をテーマに話をする。3つ目は委員方がPTAの皆様に投げかけたいテーマ、問題提起したいもの、そういったものを投げかけてそれについての議論を深めていく。こういう3種類があるのではないかと思います。設定をしている。この意見交換を行うこと、それとこのテーマについて、それぞれ話し合いをしていただければと思う。行うにあたって、日程の都合は今後事務局で詰めていくが、ご希望の時期があれば教えていただければと思う。

石本教育長

市P連の役員と教育委員との意見交換ということで説明があった。まずこういった意見交換の会を持つかどうかというところから、議論していただければと思う。これについては向こうもや

りたいと言っているので、こちらができませんというのは難しいと思うが、開催する方向でよろしいか。

委員方
石本教育長 全会一致で承認
以前この会場で行った。それが3、4年前くらいだった。
それでは実施をするということにさせていただく。日程の話があったが、10月の中旬に市P連のバレーボール大会をされるので役員方が忙しいと思う。そうすると11月くらいになると思う。

小林係長 言われる様に市P連の方が9月10月が忙しいということをおっしゃられた様なので、実際には秋以降ということであちらの都合も聞きながら調整をしたいと思う。

石本教育長 日程については全く未定だが、10月下旬、秋のところでやるという、それくらいのところで決めておきたいと思うがよろしいか。

委員方
石本教育長 全会一致で承認
あとはテーマの決め方で、事務局から3つ提案があったが、2つ目の市P連の要望事項とあるが、要望事項ではなく市P連が提案したテーマで話をするということか。陳情みたいに要望があって、それについて話をするというわけではない。

小林係長 この前の意見交換がこういった態様になってしまったのかなというところがあったので、こういう書きぶりをしたが、3に似たような設定したテーマということでお考えいただいてもいいと思う。

石本教育長 市P連がこういったテーマで話をしたいと言われたものに対してやるという、2つ目はそれにしよう。意見交換ということから、要望事項ではちょっと。

宇津委員 ただ市P連の主体性を重視するということから、やはり市P連が今何を課題に思っているのか、課題に対してどういう対策を取ろうとしているのか、それに対して行政が、あるいは教育委員会がどういう手立てなり返事をすればいいのかといったところが、要望事項とも繋がってくると思う。そのあたりを押さえて、今私が聞いてみたいのは、今何が課題なのかを聞いてみたい。子どもの問題、子どもと大人の問題、学校等々の問題もあるかもしれないし、あるいは大きく変化しているスマホ等の中で子どもたちは生きているわけで、それをどう捉えているのか、どういう課題をお持ちなのか、そこからスタートした方がお互い話が見やすいかなという気がする。

石本教育長

PTAの方々が持っておられる課題というのを意見交換会の場を出して、それに対して教育委員会がどういう風な対応ができるのかを話すのか、事前にいただいて、こういったことが課題だと思っているので、これをテーマに話してくださいとPTAの方からお示しをさせていただいてやるか。やり方としては2つの切り方があるかと思った。こういった形がよいか。その場で聞いて答える場合、こちらも十分な回答ができない場合があるかもしれない。

宇津委員

何点かに絞ってもらうか。思いを示してもらっておいた方が話しやすいかと思う。

藤本委員

私は事前にこの書面を送っていただいていたので、このうちの1つくらいから選ばばいいのかなと眺めて、その前に消去法で2つ目はバツにしていた。1つ目と3つ目はどちらを消去するかということで、考えながら来たわけですが、前回の時には社会教育のことについて議論されたと思う。それで噛み合わない部分があった様子で、家に帰ればそれらしい記録を残しているのかもしれないが。今回やるとして、テーマを設けずにやって話があっちいたりこっちいたりするのも悪くはないが、単なる意見交換で終わってしまうのかなと思うので、そうすればテーマをあらかじめ定めておいた方が、絞られた意見交換ができるのではないかと思う。そうすると1つ目も消去で残りが3つ目かなと思い、今日この場に来たわけである。ただ、3つ目は宇津委員が言われたこととは少し意味合いが違う。テーマを絞るということは一緒だが、少し意味合いが違う。むしろPTAの方からテーマを提供されれば、それに対して私たちは考えてくるのも方法かもしれない。むしろそちらの方がいいかもしれない。こちらがテーマを決めてPTA役員にどうかという聞き方よりは。

金本委員

市P連の方からやってくださいという要望があったなら、ぜひ保護者としてどういうことに困っているか。私たちもその場で解決ということはできないかもしれないが、方向性が分かれば。

石本教育長

元々こういった会をするという意味は何だろうかと考えたら当然宇津委員が言われたように連Pの方々がこういったことが浜田の教育の課題だと思っておられると、それに対して教育委員会にこういうことをしてほしいというものがあって、そうするためには委員方がこういった意見をこの場を出して方針決定をするかというところで流れができると思う。そういったことからすると、委員方が言われたことは同じだと思うので、とりあえず

委員方
石本教育長

PTAの方にごういったことが課題だと思っておられて、ごういったことをテーマとして話をしたいかということをごう点か。1点では時間が持たないかもしれないので、2点か3点ぐらい出していただき、それに対して話をするとごうった方向性でよろしいか。

全会一致で承認

それではごういった方向で話を事務局とPTA連合会の方とて話を詰めさせていただくので、よろしくごう願ひしたい。

開催するまでには日にちがあるので、またごういつかの定例会で議題として出してごうしい。

3 部長・課長等報告事項

山本部長

平成28年9月 定例会日程(見込み)(資料2)

9月議会の日程の予定である。5日が開会で、6日から9日が個人一般質問である。12日が議案質疑である。普通であれば委員会は総務文教、福祉環境、産業建設ごういう順番だが、9月の日程は別な日程となごうており、この順番となごうている。16日が予算決算委員会で、これは9月補正分である。23日から30日が予算決算委員会になごうているが、これは9月議会の後に例年行ごうている前年度の決算委員会を行ごう。総務文教関係は23日が予算決算委員会となる。予算決算委員会が終わり、10月4日が閉会となる。

佐々木課長

弥栄小学校屋内運動場の完成について(資料3)

弥栄小学校屋内運動場の完成について経過を報告する。昨年の10月から着工してごういた運動場だが、先週7月15日に建物が完成した。施設の概要については書ごういてあるが、アリーナ、災害用備蓄倉庫、放課後児童クラブを2階に併設ごういう内容である。工事の区分については右側に費用が書ごういてあるが、建物については約2億9千万円。解体が2千2百万円かかごうており、全体では3億1千万円ほどかかごうている。

ごう今後のスケジュールだが、外構、校庭整備工事、これが7月からと書ごういているが、実際には8月から始まり、9月末までに完成する予定となごうている。式典については10月5日(水)に予定ごうしている。また竣工式については、具体的に中身が決まごうたら、ごう案内差し上げたいとごう考えてごういる。

行事等予定表(資料4)

ごう今後の行事予定である。8月末までの行事予定だが、来月に

入ってすぐに高校総体、体操だが、これが始まる。8月2日が開会式、3日、4日が予選で5日に決勝と閉会式といった日程で、県立体育館で開催される。

8月10日には市教研の教育講演会がある。おそらく市教研から委員方には直接案内がいているかと思うが、実は昨年度予定していた教育講演会は台風で先生が来られず、この時の先生が2度目のチャレンジでいらっしゃるので、ぜひ行っていただければと思う。

8月18日(木)はふれあいフォーラムが行われる。

8月20日(土)は中高一貫教育シンポジウムが県立大学の方で行われる。これについても委員方にご案内させていただいているので、また日程が合えばお出かけいただければと思う。

8月28日(日)体育協会の合併10周年記念講演、これはご存知のように星野元監督が来られて講師をされるということなので、また時間が合えばお出かけいただければと思う。

石本教育長

資料3のところで弥栄小学校の屋内運動場の竣工式の日程が書かれている。だいたいこの日、この時間にやることにしているので、10月5日の午前中のところで、申し訳ないが委員方には予定を空けておいてもらえたらと思う。市長の日程がこの日しか空いていなかったの、この日にさせていただこうと思う。

森脇課長

平成28年度運動会及び学習発表会等日程表(資料5)

平成28年度運動会及び学習発表会等日程表を載せている。1番が運動会(体育祭)日程別一覧となっている。2番は運動会(体育祭)・学習発表会(文化祭)の日程を学校ごとに載せている。左側に体育祭の日程、右側が学習発表会の日程となっているので、ご都合がつけば、ぜひ子どもたちの発表を見てやっていただきたい。

石本教育長

運動会出席については決めていなかったか。

小林係長

だいたい8月くらいにまた委員方の予定を調整して決める。

石本教育長

8月の定例会の時にどこの開会式に行くかということを決める。

小林係長

今の予定でいくと早い学校は9月3日実施なので、8月定例会で決めるのは少し遅いかも。しれない。

石本教育長

それでは最後に話すことにする。後ほど運動会の割り振りをさせていただこうと思う。

山根課長

確かに9月3日、4日は早い。カレンダーの関係で1番早いくらいかもしれない。当然夏休み中に準備をするということか。ミスト式の扇風機は運動会用に各学校に備えた。

～土曜学習支援～マナビィはまだ（資料6）

土曜学習支援、マナビィはまだまだが、平成26年度から開始して3年目になる。去年は3か所ということで行ったが、なかなか生徒の集まりが悪いという様なこともあり、今年は1か所に戻したという経緯もある。先日7月23日に1回目を開講して、生徒の登録が現在のところ40人である。講師の先生の登録が一般の方が7人、大学生が5人の計12人が現在登録していただいている。

昨年と違うところは1限目を数学、2限目を英語としていたが、続けて同じ教科をしてもいいですよ、ということでやりやすいようにしている。中学校の登録の状況だが、ほぼ全部の中学校から登録はしていただいているが、四中と金城中が0となっている。金城中は放課後学習が始まったこともあるかと思う。弥栄中についても0だが、これは毎週月曜日に別に授業をやっているということもあるので、これも0かなと思っている。昨日の第1回目の23日は延べ17人の参加があった。総体などの行事も重なったりして少し少なかったかなと思っているが、17人集まった。全15回で、2月25日まで実施していきたいと思っている。

裏面だが、土曜学習支援ということで公民館事業としてやっているのは、現在のところ美川公民館が引き続きやっている。国府公民館でも行う予定としている。

ふるさと郷育推進事業実施公民館一覧（資料7）

ふるさと郷育推進事業の公民館における事業ということでふるさと再発見事業、中学生を対象とした事業である。それと通学合宿事業、三世代交流事業ということで、通学合宿については4公民館が実施したがすでに終了している。ふるさと再発見事業についても全公民館で取り組む予定としている。三世代交流事業についてはもう終わったところもあるが、15公民館でそれぞれ取り組む予定としている。

自然体験活動推進事業の一覧（資料8）

新規のふるさと郷育の一環として学校の事業、自然体験活動推進事業で全小学校、全幼稚園を対象とした事業だが、年間の

事業計画が出ており、それぞれ海・山・川に関係する様な事業内容となっている。初年度という様なこともあり、色々と疑問点等が出てきているが、今後また整理していきたいと思っている。

「海と日本プロジェクト Hamada マリン郷育プロジェクト」について（資料9）

先ほど教育長からもあったが、海と日本プロジェクトということで Hamada マリン郷育プロジェクトの事業を7月1日から開始している。7月の前半、学校の休みまではほとんど学校教育の授業の一環で行ってもらっている。それには先ほどの自然体験活動推進事業と合わせた充実した授業となっている。内容的には藻塩作りとかカヌー、先ほどもあったが立って乗るボードの SUP という風になっている。今後8月以降については公民館単位での事業が今計画されている。メインイベントとして7月18日に瀬戸ヶ島海岸と大浦の浜で事業を行ったところである。千葉すずさんも来ていただき、海のことについて和紙を使った紙芝居をしていただいたところである。内容としては浮遊体験とか安全教室、カヌーと SUP の体験ということで、それぞれの児童がすごく上達が早くて、カヌーは乗ったことがあるという子もいたが、テトラポットの外まで一周回ってくるというのはすぐできた。立って漕ぐ SUP についてもほとんどの児童が上手にバランスを取って乗ることができた。アンケートも取っているが、皆さんとてもいい体験ができたということで、自信をつけて帰ったということで大成功だったと思っている。参加人数も全体で予定しているのが800人以上ということで当初予定よりも大幅に伸びているところである。

それから事業費については先ほどから話が出ているが、今年度については今のカヌーとかボード、備品の購入費。それからこの事業についてのプログラムの作成費。それから PR 費ということで、そのあたりでかなりの事業費を占めているので、来年から継続するにあたってはやりやすい事業になるかと思う。全国公民館研究集会山口県大会における実践発表（資料10）

全国公民館研究集会山口県大会が9月8日、9日に山口市民会館で行われる。これに浜田市の雲城公民館の館長と主事が出席して発表テーマの発表を行う予定である。雲城公民館だが、金城自治区の地域の全体として中学校におけるふるさと再発

石本教育長
山根課長
村瀧室長

見学習ということで、今続けているふるさと郷育の再発見事業のモデル的な事業をされたということで、こういったことが取り上げられ全国での発表ということになった。次の資料で内容を配っているが、こういった様な内容で発表ということであらかじめプログラムの方にも掲載される予定になっている。

平成 28 年度 放課後子ども教室について (資料 11)

現在実施している放課後子ども教室について今年度の状況を報告する。市内の 14 か所で放課後子ども教室を実施している。居場所授業とか色々な体験、学習などをそれぞれの公民館単位で取り組んでいるところである。

資料 10 の金城自治区の資料は今日配ったものか。

そうである。

平成 28 年度 ふれあいフォーラム (資料 12)

ふれあいフォーラムについてである。この事業は市教研人権・同和教育部会と共に開催するもので、8 月 18 日の午後 2 時から石中央文化ホールにて行う。講師は子どもたちに愛され続けている絵本「くまのこうちょうせんせい」や「かあさんのこもりうた」の作家であるこんのひとみさんにお越しいただき、絵本による生命の授業と題し、講演いただく。講演会はお話し、朗読、歌を柱に誰もがみな 1 人 1 人幸せになることができるように、みなが少しずつ譲り合い、理解しあうことの大切さを伝えると同時に、家族の大切さ、命の大切さについて語り、歌っていただく。また講演会の最後には、会場の皆様に匿名でメッセージを書いていただき、その場で講師の先生にメロディーを付けていただいで披露していただく様をお願いしている。今回の講演会だが、残念ながら講師の意向により大人の方を対象とした講演会となっているので、小学生以下の入場はお断りさせていただきますこととなっている。

石本教育長
村瀧室長
石本教育長
村瀧室長

今度の金曜日にあるものは先月案内したものだったか。あれは誰が行ってもいいのか。

浜田市の方限定である。

基本的には学校の先生方が中心か。

島根県人権教育研究協議会という組織に加入されている先生方が県内からお越しいただくが、浜田市開催ということなので、浜田市内の方なら参加していただける。

石本教育長

13 時 15 分から三隅中央会館だったか。

村瀧室長	そうである。
石本教育長	資料があるところについては今報告いただいた。資料がないところで報告があれば。
事務局	報告事項等なし
石本教育長	説明いただいた資料 2 から資料 12 までのところでご質問、意見等はあるか。
	質疑応答
藤本委員	先ほどの資料 11 で、一覧表になっているが、私たちは知っているだけでいいのか。これについて私たちが意見を挟むようなことでもないと思う。
山根課長	それぞれの放課後を使った教室ということなので、それぞれの地域の公民館を中心に活動をしていただいている。
藤本委員	居場所もか。
山根課長	そうである。またそういったことで、実際に見ていただいたり、ご意見があればよろしくお願ひしたい。
石本教育長	資料 6 の裏面で、公民館がやる土曜学習支援で土曜にやるものが書いてあるが、安城公民館は月曜開催だから書いていないのか。
山根課長	そうである。一応土曜学習支援についてということで載せていない。
石本教育長	安城公民館は今年も月曜にされているか。
山根課長	その影響もあつてか、弥栄中からは出てきていないのかなと思っている。
石本教育長	学習支援としては月曜になるが、安城公民館で引き続きされている。
藤本委員	これと関連するが、マナビィは浜田だが、登録者数が 34 人とある。これは登録が仮にしてなくても大丈夫なのか。
山根課長	直接来ていただいて大丈夫である。
石本教育長	この登録者数は今 40 人に増えたのか。
山根課長	そうである。
石本教育長	資料 7 のところで、通学合宿の数が今年 4 公民館と書いてあり、低調というか、数が減った気がするが、その辺何かあるか。
山根課長	なかなかやりにくいのかなという気はしている。
石本教育長	ここに挙がっている 4 公民館は今までもやっているところか。
山根課長	だいたいそうである。

石本教育長 やっていてノウハウがあるところはできるが、新たにやれといわれるとなかなか難しいという感じ。

藤本委員 この通学合宿というのは、何をするのかということだが、端的に言えばキャンプではないが、そういう体験的なものと学習を併せかねてやるものが全体的な姿であるか。宿泊込みで。

山根課長 そうである。公民館によって色々と特色がある活動をしている。周布公民館は肝試しをしたり、もちろん勉強もされたりするが、それからドラム缶の風呂に入ったり、それからもらい風呂といって近所の家にお風呂に入りに行かせてもらったりとか、色々な体験メニューを作っている。

藤本委員 資料4で行事日程等が書いてあり、我々が出かけるところに丸がしてあるが、例えば8月2日、5日には高校総体の開会式・閉会式があるが、どちらかに出る予定だったか。

山根課長 特にご案内はしていない。

藤本委員 出なくていいのか。出なくてもいいのに行って、恥をかくようなら最初から行かない方がいい。

山根課長 来賓席を観客席に設けてある。ただ開会式や閉会式というよりも、5日の決勝やそのあたりを覗いていただくと非常に迫力のある演技が見られると思うので、よろしく願いしたい。

藤本委員 それでは自分の都合のつくときに行って、上の方から眺めるのはいいということか。

山根課長 そうである。

石本教育長 教育委員欄に丸がしてあるのは委員方に対して個別にご案内がいつている行事・イベントという解釈でいいか。

佐々木課長 そうである。

石本教育長 丸がないものは個人に案内がいつていないものか。

佐々木課長 そうである。

石本教育長 そうなると、体協の10周年記念講演会は案内がいつていないということか。

小林係長 先月の定例会でご案内をしている。

宇津委員 三中を語る会2016の案内がきているが、1つの中学校のこういつた会に行くべきかどうか。

石本教育長 ずいぶん前からやっておられる。

藤本委員 私は行ったことがあり、三中出身の方が中心になって三中を盛り上げるという様な意味合いで懇親会があり、多少アトラクション的なものもされ、かなり盛り上げてされる。私は三中のことは

- 石本教育長 全く分からないが申し込んで行ってみた。
- 石本教育長 私も来てくれと言われるので何回か行ってみたが、教育長として行ってものびのびできる雰囲気である。旧職員も来られたり、和気あいあいとして同窓会的な部分も半分はあるし、何とか三中を盛り立てようという様な思いでされている。これはPTAが中心になってやっている行事である。確かに全部の学校でこれをやってもらうと私たちも困るのは困るが。今のところ三中しかやっていないので行っている。委員方が無理をされることではないと思うので、欠席されてももちろん構わないと思う。
- 宇津委員 宇津委員は行かれたことがあるか。
- 宇津委員 私は初めて案内をもらった。葉書がきていて、もう返事をしなければいけない。
- 藤本委員 資料 12 でご案内いただいたこんのさんの講演会は、ふれあいフォーラムということだから毎年されているのか。
- 石本教育長 毎年やっている。
- 藤本委員 毎年やっているということは、都合がつけばいった方がいいということか。
- 村瀧室長 都合がつけば来ていただけたらと思う。
- 岡田室長 8月20日の中高一貫教育シンポジウムはよろしくお願ひしたい。私の方に言っていただければ名簿の方には加えさせていただきます。
- 石本教育長 日程表の中に、8月10日に市教研の教育講演会がある。今まで市長がこの講演会に来られることはなかったが、今回挨拶に来られる。私が主催者で挨拶をするが、その後に来賓として挨拶をするということになっており、中高一貫教育シンポジウムのPRに来られると思う。それくらい気合が入っている。
- 石本教育長 一応先日8市の教育長会もあったので、他の教育長方にもこういったことをやるのでもし時間があれば来てくださいと、お願いをした。なかなか忙しいので来ていただくのは難しそうだった。

4 その他

(1) その他

石本教育長

9月8日に少年の主張という弁論大会が予定されている。宇津委員が審査委員で出られる。その日が議会の一般質問と重なっており、私が行けないので、最初の教育委員会挨拶を職務代理の藤本委員にお願いできればと思うがいかがか。

藤本委員	案内をいただいていたので、すでに予定に入れている。
石本教育長	それでは申し訳ないが、金城のふれあいジムかなぎ総合体育館であるが、教育委員会の最初の挨拶をよろしくお願いしたい。
森脇課長	金本委員は行かれるか。
金本委員	ちょうどその日に県の方で女性ファンドの審査があって行くことができない。
小林係長	先ほどの少年の主張、浜田市大会については森脇課長、もしくは私の方まで出欠の連絡をいただければ森脇課長に伝えることとしているので、またお知らせいただきたい。
石本教育長	藤本委員、宇津委員は出席、金本委員は欠席である。
小林係長	花田委員が今おられないので確認する。
	もう1点、先ほどもあったが、インターハイの日は周辺が非常に駐車場が少ないので、事務局から駐車許可証を準備しているので、お越しの際はこれを提示していただくことになる。これは後ほど委員方にお配りするので、ご確認いただけたらと思う。
石本教育長	それがあるとどこに停められるのか。
小林係長	これはふれあい広場になる。また地図もお渡しする。
石本教育長	先ほどもあったが、委員方が会場に行かれた際について山根課長から。
山根課長	入り口を2つ作っているが、右側は一般の方の入り口、左側が来賓の方の受付となっている。観戦は3階の右側の中間どころに来賓席を設定している。
石本教育長	大会本部はフロアにあるのか。
山根課長	大会本部はフロアに設ける。
宇津委員	本部席が取れない。
石本教育長	狭いから。
宇津委員	点数表示もコンピューターですぐ出る様になっている。
石本教育長	宇津委員は3日間張り付けではないのか。
宇津委員	そういう風には聞いていない。よく分からない。開会式の時には優勝杯の返還は担ってくれと言われている。どう立ち回っているかわからない。
石本教育長	今努力して準備を進めているが、色々と問題も多々ある様で、1つ1つこなしている。
金本委員	オリンピックと同じである。
石本教育長	あと1週間だが、できてないところもあったりしてオリンピックと同じである。

運動会はどこに行っていただくかという日程調整と学校訪問の感想等はこの後やらせていただこうと思う。

次回定例会日程

定例会 8月26日(金) 13時30分から 中央図書館2階

14:50 終了

浜田市教育委員会会議規則第18条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名者

教育長 _____

教育委員 _____

教育委員 _____

教育委員 _____

教育委員 _____

会議録調製者 _____